

## 令和 7（2025）年度カタクチイワシ瀬戸内海系群の資源評価に関する

### 令和 7 年 9 月 24 日付調査・評価部会長宛事務連絡への回答

水産研究・教育機構 水産資源研究所 河野 悌昌

カタクチイワシ瀬戸内海系群について、水産庁からの依頼（添付資料参照）に基づき、管理年度を 4 月～翌年 3 月とした場合の漁獲量の試算を行った。

本試算では、2025 年の漁獲量として当該系群における令和 7 年の TAC 数量(48 千トン)を用いた。また、2024 年以前の漁獲量および 2026 年の ABC(45 千トン)については令和 7(2025)年度の資源評価(河野ほか 2025)の情報をを用いた。ここで、漁獲量の直近 5 年間(2020～2024 年)における年齢別・月別漁獲割合の平均値を求め、暦年値である 2025 年 TAC と 2026 年 ABC を年齢別・月別漁獲割合の平均値で按分し、2025 年 4～12 月と 2026 年 1～3 月の漁獲量を合計することで令和 7 年度の漁獲量を算定した。

2025 年 TAC および 2026 年 ABC について、1～3 月と 4～6 月の値を下表に示す。両年とも 1～3 月の漁獲量は 6 千トンであり、算定された令和 7 年度(2025 年 4 月～2026 年 3 月)の TAC 漁獲量は暦年値と同じ 48 千トンとなった。

表. 2025 年 TAC および 2026 年 ABC の 1～3 月・4～12 月按分値(千トン)

|                 | 1～3 月    | 4～12 月    | 1～12 月計 | 令和 7 年度(4～3 月)計 |
|-----------------|----------|-----------|---------|-----------------|
| 2025(令和 7)年 TAC | 6        | <u>42</u> | 48      | <u>48</u>       |
| 2026(令和 8)年 ABC | <u>6</u> | 39        | 45      |                 |

#### 引用文献

河野悌昌・高橋正知・安田十也・渡井幹雄・日野晴彦・木下順二・木皿祐雅・塚田秋葉・西嶋翔太  
(2025) 令和 7(2025)年度カタクチイワシ瀬戸内海系群の資源評価(速報版). FRA-SA2025-SC04-01. [https://www.fra.go.jp/shigen/fisheries\\_resources/meeting/stock\\_assessment\\_meeting/2025/files/sa2025-sc04/fra-sa2025-sc04-01.pdf](https://www.fra.go.jp/shigen/fisheries_resources/meeting/stock_assessment_meeting/2025/files/sa2025-sc04/fra-sa2025-sc04-01.pdf)

( 添 付 資 料 )

事 務 連 絡  
令和 7 年 9 月 24 日

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
水産資源研究所 調査・評価部会長 上田祐司 様

水産庁漁場資源課沿岸資源班長

カタクチイワシ瀬戸内海系群の管理年度の検討にかかる試算のお願い

カタクチイワシ瀬戸内海系群について、令和 7 年 1 月から特定水産資源となり、管理年度を 1 月－12 月とした「TAC 管理のステップアップ」を導入し、ステップ 1 を開始したところである。この管理年度について、4 月－翌年 3 月への変更の要望があったことから、資源管理方針に関する検討会等にて議論し、資源管理基本方針の別紙を変更することを検討している。

このことについて、今年度の対応として、令和 7 管理年度を「令和 7 年 4 月－令和 8 年 3 月」とした場合の漁獲量の試算ならびに水産庁主催の会合等における説明をお願いしたい。また、資源管理基本方針が変更された場合には、来年度以降、4 月－翌年 3 月を管理年度とした A B C を算出いただきたい。

以 上